

## 質問受付フォームからの質問と回答

(令和3年8月19日更新)

### ■ 質問内容

#### ➤ 回答内容

### ■ 北広島駅東口地域整備計画との関連はないのでしょうか。

➤ 駅東口につきましては、平成5年7月に策定した駅東まちづくり基本計画や、北広島駅東地区地区計画等に沿って、商業や芸術文化ホール、図書館等が立地集積しており、成熟した街並みとなっておりますが、駅西口につきましては、高度利用されていない土地や未利用の市有地が残されている状況であることから、それらを活用し、駅周辺エリアの魅力と価値を高めるような市有地の効果的な活用等を進め、東口とは違った北広島の顔となるにぎわいと交流を生む拠点の形成等の実現を目指してまいりたいと考えております。

■ 質問と言うか要望に近い事柄なのですが、説明会にて近隣の商業施設と違い独自性の高いお店のお話がありましたが、イメージ的にお台場のガンダムベースやTOYOTAのメガWEBの様な趣味性の高い施設の導入を考慮されてるという事でしょうか？一般的な感じだと当たり障りのない飲食店やファッション系のお店が入りそうな感じですが、それだと何処にでもある様な特徴の無い場所になってしまう為北広島に行かなきゃならないと言うふうにはならないと思いますので、是非趣味性の高い商業地域にしていきたいと思います。幸いというかまだ北海道にはガンダムベースの話は出ていないので絶好の機会では無いかと思います。いちアニメ作品を超えたガンダムという作品の拠点が有ればボールパークと合わせて相乗効果はかなり高い物になるのでは無いかと思います。まとまりが無い文章で申し訳ありませんガンダムベース北海道の誘致是非お願いします。

■ 西口の活性化について、より魅力的な街づくりに繋がる希望を持ちつつ、いま個人的に感じている思いを書きます。私は居住区が新富町のため、東口を主に利用しますが、今後こんなことあったらより足を運びたい、と思います。

- ・とにかく『何度も行きたい』と思う店舗をたくさん誘致してほしい(飲食店、雑貨店、書店など)
- ・夏祭り、冬まつりの季節：夏、北広島は毎週のようにお祭りを開催しているため、各お祭りとのコラボ企画を開催(ふるさと祭りにはレトロな雰囲気縁日、酒まつりは酒屋さん YUTAKA コラボ、冬は BP 雪像や氷のミニかまくらでホッコりする、など)
- ・大きなイベントが無い時でも、個人作家がハンドメイド作品を売ったり、フリースペ

ースで野菜を売る。ストリートミュージシャンの音楽を演奏したり、自由に弾けるピアノを置く。Nゲージ模型を体験できるエリアなど、様々な人が気軽に足を運びたくなる場所の提供・西口発 BP 提携市町村へ、オシャレなカフェ、酒蔵を巡るバスツアーを定期的開催

- ・江別蔦屋のような、大きな書店(BPのまちらしく、野球やスポーツ関連の書籍、店内からBP始め北広島市の自然、野鳥を見たりさえずりを感じる空間、リアル野球盤体験スペースなど、北広島らしいと感じる本屋)
- ・福祉に対してより理解を深めるエリア(障害や、様々な環境、在住外国人などの人たちへの理解、触れ合いを通じ、市民同士の理解や知見を深め、より住みやすい街へつなげる)
- ・今年の冬に新富町と北広島駅間で試験運行されていた、電気バス(広告バス!?)のエリア拡充(西口からさんぼまちエリア、BPエリアなど)

若い年代をはじめとした、魅力ある、安全で住み良い街に今後発展していく事を切に願います。

- JR北広島西口には、点でなく、面をつなげるホームタウン事業計画が必要になります。特に地元で商売をしている商店、商業施設と一緒に共同事業も時に必要になります。例えば、ボールパークのイベントとの関連事業やモチベーション対応、夏祭りや冬まつりなどのイベントがあります。これらを関連付けてホームタウン事業を面で行なうと町全体に広がり、より効果が大きくなります。また、外国人をはじめとする国内外を含めた観光客に対する接遇(語学だけでなくおもてなしなど)が町全体で対応が必要になります。これらはただ施設を作るだけでなく、ホームタウン構想に市とエスコンの会社が地元の商工会と商店会に事前に説明や提案・意見を求める姿勢が大切です。観光事業も観光協会に任せただけでなく、商店会と協力して、観光だけでなく、楽しくワクワクするイベント企画、地場の商品の紹介・販売などを商店会と観光協会の共同アンテナショップを設置し、運営する事業を検討できないでしょうか?また、小学生などの子供の絵や作文などの発表の場を市民に開放したらどうでしょうか?以上2つの質問をいたします。

- 北広島に住み始めて5年、静かで自然豊かな街並みに住みやすいところが大好きです。一方、団地地区をはじめ住人の高齢化が進むところ、ボールパークを起爆剤に若い世代が増えることを期待しています。西口エリア再開発で若い世代に受け入れられる事業が進むことを期待していますが、住み始めて、北広島駅周辺の東部・団地地区と西の里地区、大曲地区、西部地区のつながりが薄く感じています。中央バスやJRバスとの関係もありますが、市内を循環する小型バスの運行で西口エリアのつながりを強くすることを期待しています。また、西口エリアでは来訪する市外の人へ市の観光情報や連携する道内の市町村情報を発信できる拠点になることに期待しています。

- 今回の駅西口再開発事業は、将来的に市の「顔」を構築する最大の好機ととらえ、ここに北広島市の象徴的な顔となる当市ゆかりの偉人の像を建立してはどうか。当市には中

山久蔵、和田郁次郎そしてクラーク博士の偉人がいるが、やはり全国的に知名度があり、離任時の名言「ボーイズビーアンビシャス」で名高いクラーク博士の像にしてはどうか。すでに当市においては、市職員の名刺、カントリーサイン、ホームページ、市の封筒などにクラーク博士の顔、姿、言葉を載せて、広報と周知に積極的に取り組んでいること。特に名刺にはアンビシャスシティが書き込まれていること。クラーク博士の像にすると、羊ヶ丘展望台のクラーク像との差別化を図り、見送りに来た学生達に別れのあいさつをする歴史的な名場面を再現すること。文字だけの記念碑より、直接視覚に訴える像の方が多数の人々に歴史上の人物として認識されやすく、来市した人々（勿論ボールパーク入場者を含めて）が、北広島市がボールパークだけでなく、クラーク博士の名言の地であると認識する人が増えるのではないかと考えています。クラーク博士は 1826 年生まれで 2026 年が生誕 200 年になる。また、離任（ボーイズビーアンビシャスの言葉発祥）から 2027 年は 150 年目の節目の年になること。

➤ 具体的な整備内容等につきましては、今後、各個別事業計画策定の際等に協議していくこととなりますので、いただきましたご意見等を参考にしながら、北広島の顔となるにぎわいと交流を生む拠点の形成等の実現に向けて、持続可能なものとなるよう、検討してまいりたいと考えております。

- 北広公園利活用について、懸念があります。同公園は西南北の三方を住宅街に囲まれ、北進通によって駅西口エリアとは切り離された、静謐な住宅街の一部となっています。公園利用者増加により、周辺住環境が悪化する可能性を深く懸念しています。

質問 1：「様々な屋外アクティビティを生み出す公園活用」とは、具体的に何を指すのでしょうか。市有地 B の計画と合わせ、より詳細な計画をお聞かせください。

もし集客を目的としたイベント開催（たとえば屋外コンサートやお祭り）、騒音の発生を引き起こす利活用が計画されているならば強く反対します

質問 2：公園利用者が、緑陽通や周辺住宅街に駐車をして、住民とトラブルが起きる可能性があります。公園利用者の駐車問題について、どのような見込みを持っているのか、どのように解決する予定であるのか、お聞かせください。

質問 3：公園利用者の増大により、公園周辺へのゴミ放置が懸念されます。公園利用者によるゴミの発生、その処理について、どのような見込みを持っているのか、どのように解決する予定であるのかお聞かせください。

最後に：北広島団地は、自然と住宅が一体化し、北欧のような街並みを誇っています。わざわざ北広島団地に住宅を購入してきた人々は、この緑溢れる街並みと、家庭菜園やガーデニングができるだけの広い住宅用地を求めて移住してきたのです。西口エリア開発によって、北進通西側エリアの住環境に変化が生じれば、

住民との間で大きな遺恨が発生するでしょう。市有地 B 開発および北広公園の利活用においては、この点をしっかりとご理解いただければと思います。

➤ 市有地 B 及び北広公園の具体的な整備内容等につきましては、今後、個別事業計画策定の際等に協議していくこととなりますので、いただきましたご意見等を参考にしながら、北広公園の利活用等について、どのようなことができるか等を含め、関係者等と協議してまいりたいと考えております。

■ 市有地の売却の目的がどのような経緯から出たのかわからないが、単に市有地として所有していたものと公園のような公共用地として所有しているものは目的が根本的に異なるものであり、公共用地を売却するのは基本的には認めるものではない。都市計画で様々な規制を加えているのは土地利用に計画性を持たせるためであって、一企業の投資のために規則を変更するものではないのである。最近では財政上の問題を口実に公有地を売却する傾向にあるが、国や地方自治体のような政府機関はいわゆる民間投資を規制する立場であるべきで、特に大企業の投資は安全保障上からも安易に認めるべきではない。北海道は内地のような歴史の古い土地と違って計画的に土地利用を図ってきたところであり、土地は公有地化を図ることを考えるべきである。建設会社の需要を確保するためにいわゆる公共事業の縮小を補う目的のために民需なるものに乗るような安易な事業は許されるものではない。駅前公園や北進通りを挟んだ市有地は売却すべきではない。

■ 再開発の目的は複雑な土地利用を現在の生活に見合う形に再生することが目的であり、単に建物を建てることではない。現在の常識では自動車と他の交通とを分離していわゆる混合交通にしない道路構造にする、自然災害を受けにくい土地の形状に造成しなおすことが中心になるといえるので、商業目的の建築を公園などの公共空間に建設することはそれぞれ税金を一企業のために利用することにしかない。北広島団地は造成当初から自動車の影響を排除するため車庫などを住宅地から離してまとめて設置する、各住区を歩行者道路で接続する、公園・緑地のような公共空間を十分に確保するといった当時としては画期的なアイデアがあるのであり、それを生かした都市計画を考えるべきである。北広島団地の外側の市街地などは公園などの公共空間をむしろ拡大すべきものである。駅前広場は混雑が予想されるのであれば自動車の乗り場を拡大する形で考えるべきであり、駅前公園や北広公園に商業施設やマンションを建てるのは問題外である。そのようなものは駅前広場の両側、すなわち栄町や北進町側にある既存の商業施設を建て替えるなどして対応すべきである。一企業の利益のためにならないよう都市計画の意義を再確認すべきである。

➤ 全国的に人口減少や少子高齢化が進行しており、本市におきましても、人口減少

や駅前のにぎわい不足等が課題とされております。

そのため、商業などの生活サービス機能を維持し、将来にわたり持続可能な都市経営を可能とするには、都市機能・居住機能の集積、公的不動産の有効活用等によりコンパクトなまちづくりへの転換を図る必要があると考えていることから、これまで、駅西口周辺エリア活性化事業の基となる立地適正化計画や駅西口周辺エリア活性化計画等を策定し、各計画策定の際には、市民説明会やパブリックコメントなど、市民の皆様に事業内容をご説明し、ご意見をいただきながら進めてきたところであります。

北広島駅周辺エリアは、立地適正化計画において、都市機能誘導区域に位置付けていることに加え、ボールパークへのアクセス拠点になることが見込まれているなど、当該エリアが担う役割は、ますます重要なものとなります。

しかし、駅西口周辺エリアにおいて、高度利用されていない土地や未利用の市有地が残されている状況にあることから、駅周辺エリアの魅力と価値を高めるような市有地の効果的な活用等を進め、北広島の顔となるにぎわいと交流を生む拠点の形成等を実現し、課題解決を図りたいと考えております。